

進級・卒業の春に向けて

校長 横山 優美

進級、卒業と旅立ちの3月になりました。子供たちがたくましく成長した姿をうれしく思うと同時に、一年間の成長の大きさを改めて感じます。自分のことで精一杯だった小学校1年生。いつも上級生に助けてもらっていた最下級生の1年生も、もうすぐ2年生です。4月に新入生が入ってくることを心から楽しみにしています。毎日接していると気付かないことも多いと思いますが、1年間の節目としてこの時期に自分の成長について振り返り、自覚させることはとても大切です。「友達と仲良く過ごすことができるようになった」「困っている友達がいたら助けてあげた」「友達と励まし合い最後までやり通すことができるようになった」「素直に謝れるようになった」など、他者とのかわりの中で成長できるところが学校のよさであり、学校の大きな役割であると考えています。

2月16日（金）に、6年生を送る会が行われました。1年生から5年生には、お世話になった6年生に感謝の気持ちを表すこと、そして、これからの母島小学校を引き継ぐという自覚をもたせることを、6年生には、卒業・進学への意識を高めることを目的にして毎年行われている行事です。5年生が中心となり「母島すぐろく」で御幸浜展望台までオリエンテーリング、午後は体育館で学年の出し物を披露しました。1～5年生は、6年生から受けた恩に対し、恩返し of 気持ちを込めて発表し、送られる側の6年生からも、さすが最高学年というしっかりとしたお礼の言葉が伝えられました。お互いの気持ちが通い合った心温まる時間となりました。

毎年この時季なると「恩送り」という言葉を思い出します。「恩返し」は、恩を受けた相手に直接恩を返すことを意味しています。それに対して「恩送り」という言葉は、受けた恩を直接その人に返すのではなく別の人に送ります。その人がまた別の人に渡し、次から次へと恩が広がっていきます。そうすることで、みんながつながり、支え合っていることを意味しています。さらに、恩送りができるということは、恩を感じるしなやかな感性がなければなりません。まわりの人やものに対する柔軟な感受性と豊かな想像力を育てていくことも大切なのです。

卒業式の門出の言葉の中に「何でも教えてくれて、優しい先輩たちは私たちの目標でした」「私たちも卒業生を見習って頼りにされる最高学年になります」「これからは私たちがこの母島小中学校を支えていきます」という文があります。これらの言葉の中に、「恩送り」の心を感じます。卒業生から受けた恩を、今度は自分たちが引き継いで、下の学年に送ってきたいという思いが表れていると思うのです。もちろん卒業生と在校生の間だけでなく、日頃の学校生活の中で、上級生がよくしてくれたことを下級生にする。そのような「つながり」が、学校のよき伝統とか風土を形成していくのではないかと思います。母島小中学校の良き伝統を受け継ぎ、よりよく発展させていくために努力していくことが「恩送り」ということになります。卒業していく児童生徒たちは、過去の卒業生から受けた恩を送るために力を尽くします。それを受けた後輩たちがまた、次の後輩たちのために力を尽くしていく。そうやって恩送りが繰り返され、今の母島小中学校があるのだと思います。

母島小中学校は、地域や保護者の方々に支えられてきた学校です。今年度も多くの方々のご支援やご協力を賜りました。子供たちをよりよく成長させていくことが、皆様からいただいたご恩への恩送りとなるもの考えます。これからも精一杯の恩送りを積み重ねていくとともに、地域や保護者の皆様のご期待に十分応えられるように新年度に向けてしっかりと準備をしていきたいと思ひます。一年間、ありがとうございました。

卒業に向けて

小学校6年担任

3学期に入り、卒業に向けての活動がいろいろと始まっています。まず、奉仕活動として学校内の清掃を行っています。子供たちが決めた「見えないところもきれいにしよう」をテーマに全部で10日ほど行います。卒業制作は「モザイク画」と「雑巾」を作成中です。また、卒業式での「卒業生の言葉」を作るためのアンケートに答えたり、卒業文集の作成作業を行ったりと忙しくなってきました。3月に入ると感謝の気持ちを込めてカレーを児童・生徒・先生に食べてもらう日が予定されています。このような活動を通して、少しずつ「小学校を卒業する」という気持ちが作られていくのだと思います。

この1年間、最高学年としてたくさんの行事や学習活動で小学生をリードしてきました。今年度の6年生はスタートは2人、その後3人となりました。そんな中で1人にかかる責任が重い部分もあったかもしれませんが、私のそんな心配を物ともせず、今までしっかりと活動することができました。

卒業式は自分が成長したことを振り返り、保護者や地域の方など、お世話になった方々に感謝の気持ちを表す日でもあります。残りわずかとなった小学校生活ですが、すがすがしい気持ちで卒業の日を迎えることができるように支援していきます。

6年生を送る遠足・送る会

小学校担当

2月16日（金）は小学校の卒業行事「6年生を送る遠足・6年生を送る会」の日。この行事のリーダーとなる5年生が悩みながら準備を進める姿が何日も前から見られました。

当日、小学校全員が中庭に集合したとたん、雨がポツリポツリと…！でも空は明るく、すぐにやみそうだったので、予定通りの開始となりました。遠足は3チームに分かれての母島すぐろく。サイコロをふって止まったマスのミッションに挑戦しながらゴールを目指します。チームごとの名札、イラスト入りのマップ、6年生の顔写真の入ったサイコロ…すべて手作りで、5年生の思いが詰まっています。ミッションも「神社で3分間落ち葉を拾って、神様に喜んでもらう」「6年生の〇〇さんの好きな色は？」など、6年生も他のみんなも楽しめる工夫にあふれていました。

体育館で行った送る会では、各学年が6年生への感謝を伝えます。1年生は6年生のすごさを讃える「6年生ってかっこいい!」、2年生は、6年生とみんなで楽しむじゃんけんゲーム。3年生は6年生になりきって問題を出すインタビュークイズ、4年生は体育館の中に隠されたパズルのピースを探して組み立て、問題に答える「宝さがし&クイズ」、5年生は、6年生の思い出スライドショーと手紙。どの学年も、優しくて頼りになる6年生にありがとうを伝えるために心を込め、6年生はいつもの優しい笑顔ですべてを楽しんでいました。

みんなの「6年生大好き!」の気持ち、力を合わせて会を運営した5年生の感謝の気持ち、そしてみんなで過ごしたこの1日が、3人の6年生の「母島小学校の思い出」の1ページに加わりました。

卒業式を前に…

中学3年生担任

4人が教室に机を並べ、座っている。教卓から眺めるその光景が、私は大好きです。全員が揃うありがたみを卒業式が間近に控えた今、改めて感じています。

3年前。Aくんを含め、5人で中学校生活をスタートしました。当時、彼女たちのみなぎるパワーと明るさに「この5人が3年生になったらどんな母島中学校になるか楽しみだね」と教員同士で話していたことをよく覚えています。

2年生になると、様々な場面で後輩たちの前に立つことが多く、任される仕事が増えました。プレッシャーを感じ、弱音を吐くときもありました。それでも本番までに、私の予想を超えるレベルにまで準備を整えてきたり、お互いが苦手な部分をフォローしていたりすることもありました。

3年生では最上級生としての責任感が大きくなり、「行動で後輩に手本を見せよう」という気概で、母島中学校を牽引してくれました。

担任としてかかわってきた2年間で何度も投げかけてきた「どんな卒業式にしたいですか。」という問い。今の彼女たちには「感謝の気持ちが伝えられる卒業式にしたい」「みんなを安心させたい」という思いがあります。

3月18日。どんな卒業式になるのでしょうか。卒業証書授与の時、私はどんな気持ちで彼女たちの姿を見ているのでしょうか……。

Hさん。穏やかな中に力強さを感じます。「有言実行」自分が決めた目標を達成するために努力するHさんにぴったりの言葉です。人の痛みがわかる優しさを大切にしてください。

M・Tさん。他者への感謝の気持ちを素直に伝えられるところがあなたの魅力の1つです。何事も諦めずに取り組む姿を私たちは見てきました。自分に自信をもって、高校生活も頑張れ！

M・Hさん。あなたの笑顔に私はいつも助けられていました。いつもぶれない芯の強さをもっています。どこに行っても、大丈夫！前向きなMさんのまま、さらに活躍してくださいね。

Nさん。力強いリーダーシップで集団を引っ張ることも、一人一人をよく見て、細やかな気遣いもできるNさん。あなたなら、ますます広い世界で活躍できると確信しています。

……彼女たちと過ごした時間を思い出しながら、私はこんなことを考えるのだと思います。母島の皆様、卒業式では彼女たちの15年間の成長を感じ、感謝の気持ちを受け取ってください。そして、島を離れる日までとは言わず、これからも、5人のことを温かく見守り、応援していただけると嬉しいです。

最後になりましたが、彼女たちの9年間の母島小中学校での学びにご協力いただいた全ての皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。

3月の生活指導

生活目標

「1年間のまとめをしよう。」

- ・1年間の学習や生活を振り返ろう。
- ・思い出に残る卒業式にしよう。
- ・進級・卒業への心構えや準備をしよう。

安全指導

「1年間で振り返り、来年度へ向けて」

今年度の生活の様々な場面で安全に過ごすために気を付けたことや、身に付けたことを確認し、来年度への反省点や継続していくことなどをまとめ、校内外で安全に過ごす態度を育てます。

避難訓練 予告なし

地震により火災が発生し、電気系統が使用不能になった場合を想定した避難訓練を行います。

今年度訓練を重ねてきた避難訓練の指導事項が児童生徒に身に付いているかを確認し、再度指導を徹底します。実施日・実施時刻の予告はありません。



見送り式・出迎え式の予定について

3月26日(月)	見送り式	4月1日(日)	見送り式
3月29日(木)	出迎え式	4月4日(水)	出迎え式

※見送り式・出迎え式の日程
が変更される場合は、連絡網
一斉メールでお知らせします。



表彰等のお知らせ

◇東京都公立学校美術展覧会出展（書写）

◇全国中学校人権作文コンテスト東京都大会作文委員会賞 小笠原村人権作文コンテスト最優秀賞

◇小笠原村人権作文コンテスト優秀賞

◇東京都防災標語コンクール優秀作品

○小中学校玄関前に標語ののぼり旗が立っています。

3月の主な行事予定

			16	金	卒業式前日準備	SC在島
1	木		17	土	(母島保育園卒園式)	
2	金		18	日	第43回母島小中学校卒業式	
3	土		19	月	振替休業日	
4	日		20	火	朝礼(保健指導)	
5	月	朝礼(安全指導) (全) 思考力チャレンジ	21	水	春分の日	
6	火	(小3・4) 保護者会	22	木		
7	水		23	金	修了式 離任式	
8	木	(小6) カレーの日 (中) 保護者会	24	土		
9	金	(小5・6) ガラパゴス諸島学生交流	25	日		
10	土	PTA総会・歓送会	26	月	春季休業日始 見送り式	図書館開放
11	日		27	火		
12	月	中朝礼 (中) 卒業行事 (小1・2) 保護者会	28	水		
13	火	(小5・6) 保護者会 (小6) 中学校新入生保護者説明会	29	木	出迎え式	
14	水		30	金		
15	木	卒業式予行 周辺美化	31	土		